



セットアップ

Cloud Mailbox を設定するために Microsoft 365 グローバル管理者権限が必要なのはなぜですか。

シスコは、ユーザーの Microsoft 365 ログイン情報を物理的に受け取らず、グローバル管理者のログイン情報をキャッシュまたは保存することはありません。クラウドメールボックスは、ユーザーを Microsoft の Azure アプリケーション登録プロセスにリダイレクトして、ここで Microsoft の API の認証トークンを発行できるようにします。このトークンを認証できるのはグローバル管理者のみです。

詳細については、アプリケーションの管理者権限の説明についての次の Microsoft のドキュメントを参照してください。
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/active-directory/manage-apps/grant-admin-consent/>

Malware Analytics/Threat Grid からウェルカムメールを受信したのはなぜですか。

クラウドメールボックスアカウント作成プロセスの一環として、最小限の Cisco Secure Malware Analytics (旧 Threat Grid) アカウントが作成されます。新しい Malware Analytics アカウントは、既存の Malware Analytics アカウントにリンクされていません。クラウドメールボックスを設定するために Malware Analytics アカウントでアクションを実行する必要はありません。

ジャーナルアドレスを確認するにはどうすればよいですか。

ジャーナルアドレスは、クラウドメールボックスの設定ページに表示されます。初期設定後にジャーナルアドレスを見つける必要がある場合は、[アカウントの詳細 (Account Details)] セクションの [設定 (Settings)] (歯車アイコン) > [管理 (Administration)] > [ビジネス (Business)] ページで見つけることができます。

Microsoft 365 テナントを登録しようとする、登録エラーが表示されるのはなぜですか。

以前別のクラウドメールボックスアカウントに登録されていたテナントを登録しようとする、認証は失敗します。クラウドメールボックスでは、同じ Microsoft テナント ID を持つ複数のアカウントは許可されません。

シスコはジャーナルデータをどのくらいの期間保持しますか。

各ジャーナルメッセージは、ほぼ即時にメタデータ抽出およびコンテンツ分析が行われ、その後廃棄されます。ジャーナルメッセージに埋め込まれた添付ファイルは、追加の分析またはサンドボックス分析を可能にするために、少なくとも 24 時間保持されます。ジャーナルから抽出されたメタデータは 90 日間保存されます。

ユーザーを複数の Cloud Mailbox インスタンスに追加できますか？

ユーザーは同じ SecureX のサインオンアカウントを使用して、複数の Cloud Mailbox インスタンスにアクセスできます。これにより、ログアウトして別のアカウントで再度ログインすることなく、各インスタンスを簡単に追跡できます。

[設定 (Settings)] (歯車アイコン) > [管理 (Administration)] > [ユーザー (Users)] から新しいユーザーを作成して、他のインスタンスに追加します。同じ SecureX サインオンを使用している Cloud Mailbox アカウントは、[ユーザー (User)] メニューから利用できます。このアクセスは、同じ地域 (北米またはヨーロッパ) の Cloud Mailbox アカウントに限定されることに注意してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。